

これまでの足跡

2012年以降の取組はFACEBOOKでの掲載に切り替えております。
最新情報については、トップページにありますリンクからFACEBOOKを
参照頂くようお願いいたします。

11年	今大会用に開発した新しい空力パーツやサスペンションを持ち込み、昨年型のマシンを改良した信頼性に優れたマシンでレースに挑みました。					
	2011.8 ソーラーカーレース鈴鹿2011 予選ではトラブルが続出し、出走27台中総合15位、上位を狙い本選ギリギリまでパドックでセッティングを行いました。 決勝は曇りで、予想以上にバッテリーの消耗が激しく、テレメトリーで燃費のマッピングを検証した結果、1周あたりのラップタイムを60秒落としたため、完走狙いの作戦に変更し、総合17位でチェッカーを受けました。 来年はテストコースでデータ取りを行い、総合3位以内で完走できるよう頑張ります。	<table><tr><th>総合</th><th>クラス</th></tr><tr><td>17位/27台</td><td>8位/9台</td></tr></table>	総合	クラス	17位/27台	8位/9台
総合	クラス					
17位/27台	8位/9台					
10年	車を作り替えました。空力性能も車体重量も大きく改善しています 昨年以上の成績を目指し、自信满满 レースに参加しました					
	2010.8 ソーラーカーレース鈴鹿2010 大産大が2連覇です。芦屋大は終盤の追い込みましたが、クラッシュのトラブル。最後はバッテリーも枯渇し無念の2位でした 110周回でした その中でJTEKTチームは74周回 総合で20位、クラス11位、もっといけると思っていたのですが、ガクリ成績です。 空力性能も車体重量も大きく改善できたい筈だったのに、何が？ 周りはもっと進化してた ということなんでしょうね、 来年は もっと頑張らねば！！	<table><tr><th>総合</th><th>クラス</th></tr><tr><td>20位/32台</td><td>11位/13台</td></tr></table>	総合	クラス	20位/32台	11位/13台
総合	クラス					
20位/32台	11位/13台					
09年	今年はあいにくの雨、太陽の恵み、発電量は期待できません バッテリーをいかに効率よく消費していくかが勝負です					
	2009.8 ソーラーカーレース鈴鹿2009 番狂わせが起きました。世界1位の常勝芦屋大が大産大に敗れました 76周回でした その中でJTEKTチームは60周回 総合で10位、クラス4位、過去最高の成績です 世界でもTOP10レベル？ オーストラリアも夢ではないかも・・・	<table><tr><th>総合</th><th>クラス</th></tr><tr><td>10位/36台</td><td>4位/11台</td></tr></table>	総合	クラス	10位/36台	4位/11台
総合	クラス					
10位/36台	4位/11台					

08年	発電量UP、バッテリー容量UP、空気抵抗改善、走り方の改善でトータル20%以上の改善 70周回以上を目標に・・・ 2008.8 ソーラーカーレース鈴鹿2008 結果は74周回、目標達成です！ 決勝1日目、電気自動車エコランで培ったエネルギーマネージメントで36周回を予想、おひさま&気合で、目標を上回る39周回！ しかし、戻ってきた車を見ると、今までに経験したことの無い速度で走ったためか、至る所ねじが緩んでる！気づけて良かった・・・ 決勝2日目はあまりの暑さのためか、電気回路が故障 ほかのチームに借りて修理し、なんとか出走。 トラブルはいくつかありましたが、無事35周回してゴール。 2日間の結果は目標達成の74周回です！ 今年も自己記録更新！ 来年はエネルギーマネージメント力向上、空気抵抗の更なる改善で 目指すは80周！ <table border="1"> <thead> <tr> <th>総合</th><th>クラス</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18位/32台</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> 	総合	クラス	18位/32台	—
総合	クラス				
18位/32台	—				
07年	空気抵抗低減目的のタイヤカバー装着、軽量化目的の足回り変更 (スプリング→エアサス) などを行い、大会に臨みました。結果は・・・ 2007.8 ソーラーカーレース鈴鹿2007 見事これまでのベスト記録を更新！ 8km×60周を走破 しかし、ベスト記録は更新したものの トップチームとの差がまだまだあることを感じました。 (何か秘密兵器が欲しい！) 来年は得られたデータから、アクセルの開け方、 ライン取りまで細かなところに気を配り、上位入賞を目指して、 部員一丸となって活動していきます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>総合</th><th>クラス</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23位/31台</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> 	総合	クラス	23位/31台	—
総合	クラス				
23位/31台	—				
06年	4号機をさらに改良しました。車名も「Tekton 262S」に改称です。 データロガーも搭載し、対策はバッチリです 06.8 ソーラーカーレース鈴鹿2006 第1ヒート 周回数は34回、計算通りの走行です チェッカーフラッグの振られる中、走り終えました 近年にないいい成績です。みんな大喜びです このままいくと上位入賞も狙えるかも？ 第2ヒート、期待感一杯でスタートです ところが1周回っただけでピットインです アクセル（TVのボリュームと同じです）の調子がおかしいとのこと もう1周様子を見るということで送り出したら、 2周目で立ち往生 今年の大会もトラブル・・・ くやしい～！！ (原因はコネクタ端子の接触不良でした・・・) <table border="1"> <thead> <tr> <th>総合</th><th>クラス</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31位/34台</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> 	総合	クラス	31位/34台	—
総合	クラス				
31位/34台	—				

05年

3号機が大破したため 4号機 (NEW RILUCENTE改) を製作です
3号機での反省を踏まえ、より空力特性に優れたボディデザインと
しました。
ボディカラーも 青から黒 にイメージチェンジです。



05.8 ソーラーカーレース鈴鹿2005

第1ヒートの1周目で右前輪にトラブル
コース上で立ち往生、4時間後に牽引されて戻ってきました。
第2ヒートで挽回を目指したものの成績は伸びず残念！！

総合	クラス
34位/35台	—

04年

3号機 (NEW RILUCENTE) を一から設計・製作しました。
でも、レース直前 まだ完成していません。



04.7 ソーラーカーレース鈴鹿2004

鈴鹿は台風10号が直撃。でも車体の製作追い込み・調整に追われ
気にしている暇ありません。化粧はあきらめ車検、何とか合格
やっと試走までこぎつけたら、なんと風にあおられ車が真っ二つ、
第1ヒートはパスして応急修理です。
なんとか第2ヒートは完走できました。

総合	クラス
29位/33台	—



車検は何とかパス



いよいよテスト走行



真っ二つに大破



応急処置で第2ヒートへ

03年

2003年鈴鹿は大幅改良で参戦予定
(しかし部員12名、しかも高年齢化の社会現象はここにもやってきている)

03.7 ソーラーカーレース鈴鹿2003

今回の成績は、22位/26台
20周/1日目、26周/2日目
来年は表彰台へ (表彰台の近くへ並びたい。。。)

総合	クラス
22位/26台	—

来年は車体を新作し、車重、空気抵抗、車輪径、モータに合った走行パターン、
転がり抵抗等をよく検討し、テスト走行を重ねチャレンジだ！ おう！

02年	<u>02.7 ソーラーカーレース鈴鹿2002</u> コース上で一休み？ 太陽電池を単結晶にしたが、ト・ラ・ブ・ル発生	総合	クラス
		14位/48台	－
	<u>02.10 朝日ソーラーカーラリー in 神戸</u> ちょっと疲れたかな～？？？ 最後の車に、みんなで記念撮影だ！	14位/57台	3位/5台
01年	<u>01.7 ソーラーカーレース鈴鹿2001</u> 他チームの性能アップに順位をおとす	総合	クラス
		8位/40台	－
	<u>01.10 朝日ソーラーカーラリー in 神戸</u> クラス変更し、クラス優勝	22位/44台	1位/2台
2000年	<u>2000.8 ソーラーカーレース鈴鹿2000</u> 表彰台まであと一歩 2年連続5位 (くやし～い)	総合	クラス
		5位/47台	－
	<u>2000.10 朝日ソーラーカーラリー in 神戸</u> 久しぶりの“神戸ワイン賞”をゲット みんなでかんぱ～い！	10位/66台	7位/30台
99年	ソーラーカーレース鈴鹿では、 太陽電池の発熱量によりカテゴリーを3クラスになる 「8時間耐久」・・・ドリームクラス、チャレンジクラス 「4時間耐久」・・・エンジョイクラス		
	<u>99.8 ソーラーカーレース鈴鹿'98</u> 今年から4時間耐久	総合	クラス
		5位/35台	－
	<u>99.10 朝日ソーラーカーラリー in 神戸</u> 他チームは、年々小型化。 大きくて高性能？我チームであった “神戸市長賞”ゲット	11位/67台	6位/26台
98年	<u>98.5 朝日ソーラーカーレース in TIサーキット英田</u> 2回目で、岡山支社からの応援に答え 表彰台！ (クラス3位)	総合	クラス
		5位/23台	3位/11台
	<u>98.8 ソーラーカーレース鈴鹿'98</u> 新機能を搭載(後輪に一方クラッチ機能を) しかし、上位に食い込むことはできなかった	25位/55台	8位/28台
	<u>98.10 朝日ソーラーカーラリー in 神戸</u> この大会はお祭り気分が多いにエンジョイしてま～す “神戸市長賞”ゲット	7位/75台	6位/33台
97年	TIサーキット(岡山) にも参戦 (3戦/年)		
	<u>97.5 朝日ソーラーカーレース in TIサーキット英田</u> 岡山支社からの応援もむなしく思い通りの走行ができず、 悔いが残るレースであった	総合	クラス
		16位	6位
	<u>97.8 ソーラーカーレース鈴鹿'97</u> 空気抵抗軽減、ちょっと先端が変わったかな？	36位/55台	5位/23台
	<u>97.10 朝日ソーラーカーラリー in 神戸</u> 2年目で“神戸ワイン賞”をゲット 初めての喜びに乾杯！	11位/71台	7位/32台

96年	2号車：RILUCENTE (リルセンチ)				
	<u>96.8 ソーラーカーレース鈴鹿'96</u> 基本構造は同じだが、新型車 RILUCENTE (リルセンチ) 登場		総合	クラス	
	<u>96.10 朝日ソーラーカーラリー in 神戸</u> 初めてのフルーツフラワーパークでの走行		48位/55台	12位/17台	
95年	<u>95.8 ソーラーカーレース鈴鹿'95</u> 新型車製作のため、充電中 (一休み)		総合	クラス	
			—	—	
94年	<u>94.8 ソーラーカーレース鈴鹿'94</u> 気分一新、ちょっと化粧直し しかし、レース中シャフトが折れてコースアウト		総合	クラス	
			34位	20位	
93年	本格的にレース参戦				
	<u>93.8 ソーラーカーレース鈴鹿'93</u> あいにくの天気だったが、応援に来てくれた学生たちと記念撮影		総合	クラス	
			24位	14位	
92年	ソーラーカーにチャレンジ開始！ 1号車：Do-21 (初めて作ったソーラーカーでレース・イベントに参加) (部員10名)			成績	
	<u>92.8 ソーラーカーレース鈴鹿'92</u> 初めてのレース出場(Do-21) 緊張するドライバーたち			総合	クラス
	<u>92.8 石川 ソーラーカーラリーイン能登</u> 手作りソーラーカーが全国から集まり、楽しい時間を過ごした。 しかし、砂地での走行は大変だった			31位	11位
90～91年	まずは、エコランを作り始める (燃費競技：ガソリン1リットルで何キロ走れるか) 姫路、伊賀上野、鈴鹿、東京へと2年間で競技に参戦する				
	<u>90.9 姫路</u> 手探りで始めたエコラン1号車 いろいろな人とめぐり合い、ここから自動車クラブの歴史が始まるよ				
	<u>91.9 東京</u> 2台エントリー 東京支社からの応援もあり元気いっぱいのメンバーたち				
	<u>91.12 伊賀上野</u> 各地で大会が行なわれた ここは、(株)エクセディ(ダイキンクラッチ)のテストコース ちょっと寒いぞ～				
89年	光洋精工70周年記念の中で”自動車クラブ”誕生！おぎゃー (部員7名)				